



イーストマン・コダック社 | サステナビリティ レポート 2022年度 最新版



ONE WORLD

ONE KODAK

CONTENTS

はじめに

コダックについて	2
会長兼CEOのメッセージ	3
コダックのビジネス最新状況	4
コダックの事業別ソリューション	5
コダックのサステナビリティの取り組み	6
サステナビリティ目標	8

ONE BUSINESS: 製品とサービスのイノベーション

環境保護と事業成長を両立:コダックの最新の製品とサービス.....	12
溶剤の回収:循環型経済の実現に向けて	18
省電力化:新しい遮光技術の開発	20

ONE PLANET: 責任ある環境フットプリント管理

持続可能な操業体制	24
責任あるサプライチェーン	25
サプライヤー ダイバーシティ プログラム	25
Eastman Business Park:持続可能な成長の中心拠点.....	26

ONE PEOPLE: 助け合いの輪

コダックの価値観	30
安全	31
ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン	32
将来を切り拓く技術と人材の育成	33
従業員の健康と福利厚生	35
地域社会との関わり	36

本レポートについて

本サステナビリティ レポートの情報は、主にイーストマン・コダック社の2021~2022年におけるグローバルな事業活動と、サステナビリティに関する当社への重要な影響要因が反映された内容で構成されています。

当社は、ステークホルダーの意思決定にお役立ていただくことを想定し、サステナビリティ パフォーマンスを可視化し開示することに取り組んでいます。その一環として、ステークホルダー（お客様、従業員、投資家、当社が事業を展開する地域社会などを含みます）との最も理想的な関わり方や関係構築の枠組みを継続的に見直しています。

表紙右下の写真について

2022 年公開のホラー映画「Nope」のセットでカメラチェックする脚本 / プロデューサー / 監督のジョーダン・ピール氏（左奥）と撮影監督のホイテ・ヴァン・ホイテマ氏（NSC・FSF・ASC*）。

写真提供：Glen Wilson/Universal Pictures。

© 2022 Universal Studios. All Rights Reserved.

* オランダ、スウェーデン、アメリカの各撮影監督協会の略



**One Kodakのもと
コダックそして当社のお客様の
持続可能な成長を促進する
人と地球に優しい革新的な
製品とソリューションを
お届けできるよう
尽力してまいります。**

コダックについて

コダックは、印刷、先端材料および先端化学薬品を中核基盤として、世界をリードするメーカーです。130年以上にわたる研究開発で31,000件の特許を取得している当社は、今日の世界で見られるもの、作られるものを向上させるのはテクノロジーと科学の力であると確信しています。受賞歴のある当社の革新的製品と顧客第一のアプローチが合わさって、当社は世界中の印刷会社様を選ばれるパートナーとなっています。コダックは、環境責任におけるリーダーシップに強くコミットしています。当社のポートフォリオで提供している多くの製品によって、世界中の印刷会社様が、CO2排出量の削減を実現し、エネルギー、水、化学薬品の消費量を減らして廃棄物を削減することで、持続可能な操業を可能にしています。

130+

130年以上にわたり
高品質とイノベーションを実践

4,200

4,200名の従業員

1,557

1,557件の印刷関連特許を保有

1.6

KODAK PROSPER 7000 Turbo
Pressで『ロード・オブ・ザ・リング』
(432ページ分)を印刷可能な時間
(1.6秒)

12

1年で回収される溶剤の量を
オリンピックサイズのスイミングプールに
換算した数

13

2020年以降、コダックのデジタル
プリント製品が受賞したテクノロジー
関連またはイノベーション関連の賞の数

80%

KODAK TRENDSETTERおよび
KODAK ACHIEVEの各プレート
セッターファミリーの電力消費量の
削減率(競合製品との比較)

65%

溶剤からPROSPER水性パッケージ
インクに切り替えることで、
削減可能な推定GHG排出量

1/10

KODAK ULTRASTREAMインク
ジェットテクノロジーで使われる
ノズルの太さは、人間の髪の毛の1/10

Jim Continenza

会長兼CEOのメッセージ

この数年間の出来事は、人間と地球の結びつきを強くさせるものでした。私たちは1つの世界に存在しており、地球の片側で起こることは反対側にも影響を与えます。ここから導き出されるメッセージは明確です。私たちは皆、お互いを思いやる必要があり、持続可能な世界を創出するという責任を、誰一人欠けることなく共有しています。

コダックのサステナビリティの出発点は、現在の従業員そして次世代を担う人材のために、成功し収益を生み出す企業を創り上げることです。コダックの従業員たちは、現在もこれからも、当社の中心を担います。当社は、優れた製品と技術を生み出しインスピレーションを与える優秀な人材の支援に力を注ぎ、顧客サービスの改善、社会への価値還元、持続可能な形での市場競争力の創出を可能にします。世界最高水準の研究開発チームの能力を存分に活かして独創性に優れた持続可能なソリューションを市場に投入しており、当社の新たな成長分野を切り拓く先端材料の取り組みも継続しています。

当社は「One KODAK」の文化を築いてきました。従業員がこの文化を推進するために大きな役割を担っていることを誇りに思います。包摂性、相互協力、つながりを基盤とする One KODAK によって社内部門間の分断を解消することで、当社は卓越した顧客サービスとイノベーションの提供に集中できます。当社では、意思決定において多様な視点や観点を重視し、あらゆる管理職レベルにおいて女性を採用することに重点を置いてきました。現在、管理職の31%、経営幹部の38%が女性です。

また、印刷会社様に持続可能なソリューションを提供することにも尽力しています。一例として、私たちはお客様と協力して、従来のオフセット印刷を補完するデジタル技術を新たに印刷現場に導入す

コダックはこれからも、優れた製品と技術を生み出し
インスピレーションを与える優秀な人材の支援に
力を注ぎ、顧客サービスの改善、社会への価値還元、
持続可能な形での市場競争力の創出を可能にします

ることに取り組んでいます。デジタル化により、製造と流通に膨大なエネルギーと資源が必要となるアルミニウム製の印刷プレートが不要になります。同時に、デジタル化により、お客様はコストの上昇やプレートのサプライチェーンに関する課題にまつわるリスクを軽減し、印刷プロセスが全体的にさらに持続可能なものになります。デジタルへの移行が当社にとって重要なプレート事業に影響を与えることは理解していますが、当社、お客様、そして地球が長期にわたって健全性を確保するために、デジタルへの移行は正しいことだと考えています。

また、SONORA プレートや水性インクなどの革新的技術を活用した持続可能な製品を市場に投入する取り組みも進めていますが、製品や事業で持続可能性をさらに実現するためには、まだ取り組まなければならない課題が多数あると認識しています。

当社はこれからも未来を見据え、優れた製品と技術を生み出しインスピレーションを与える優秀な人材の支援に力を注ぎ、顧客サービスの改善、社会への価値還元、持続可能な形での市場競争力の創出を可能にします。One World を分かち合う一員であること。One KODAK の担い手であること。この2つの責任を胸に刻み、コダックとコダックのあらゆるステークホルダーのみなさまの持続可能な成長と成功を推進していきます。



Jim Continenza
イーストマン・コダック社 会長兼CEO





コダックの ビジネス最新状況

当社では、以下の分野における優れた製品とサービスの提供に注力し、収益の拡大を推進しています。

オフセット印刷とデジタル印刷

オフセット印刷ソリューションには、デジタルオフセットプレート製品や CTP (Computer-To-Plate) イメージング ソリューションなどがあります。デジタル印刷ソリューションには、帯電式トナー関連技術、プロダクションプレス システム、消耗品 (主にインクなど)、インクジェット部品、各種ソフトウェアおよびサービスなどがあります。オフセット印刷もデジタル印刷も、商業印刷、ダイレクトメール、書籍出版、新聞、雑誌、パッケージなど多種多様な民間産業で活用されています。

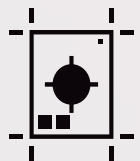
先端材料と先端化学薬品

先端材料と先端化学薬品の取り組みでは、調査、新製品の開発、既存の材料や化学物質の新機能の開発、発明や技術革新の特許申請など、未来を切り拓くアイデアを現在の市場で具現化する企業のお手伝いをしています。

コダック製品の最近の受賞歴と表彰歴

- **2020 European Digital Press Association Award** 環境保護インクおよびトナー部門: KODAK 抗菌性クリアドライインク
- **2020 Printing United Alliance Product of the Year**: KODAK PROSPER QD パッケージ用インクおよびフィルムオブティマイザーエージェント
- **2020 Intertech™ Technology Awards**: KODAK PROSPER および UTECO Sapphire EVO 製品
- **2021 European Digital Print Award** ベストフォールドカートンソリューション部門: KODAK ASCEND デジタルプレス
- **2021 Pinnacle Intertech™ Award** 高度な持続可能印刷部門: KODAK SONORA Process Free Plates
- **2021 Keypoint Intelligence Buyers Lab Outstanding Innovation Awards** プロダクション印刷部門: KODAK PROSPER および UTECO Sapphire EVO 製品
- **2021 American Business Awards® Stevie Awards**: コダック会長兼 CEO の Jim Continenza が Maverick of the Year を受賞
- **2022 Business Intelligence Group 「Sustainability Service of the Year」**: 溶剤回収事業
- **2022 Pinnacle InterTech™ Award**: KODAK MAGNUS Q4800 プレートセッター
- **2022 GP Materials and Environmental Award**: 材料部門、グリーンプリンティング
- **2022 Pinnacle Product Award**: KODAK 第5世代イメージングソリューション - ASCEND & NEXFINITY デジタルプレス

コダックの事業別ソリューション



オフセット印刷

- SONORA プロセスフリープレート
- CTP (Computer-To-Plate) システム



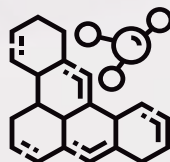
コンシューマー

- ブランドライセンス供与



デジタル印刷

- NEXFINITY デジタルプレス
- PROSPER 水性インクジェットインク
- PRINERGY ワークフローソリューション
- PROSPER 7000 Turbo Press
- PROSPER ULTRA 520 デジタルプレス
- PROSPER インプリンティングシステム



先端材料と先端化学薬品

- KODACOLOR DTG (Direct-to-Garment) インクおよび Film-to-Fabric インク
- KODALUX ファブリックコーティング
- 薬剤の未規制の主要出発原料
- 診断用研究試薬 (2023 年始動)
- 積層造形 – 実用印刷と
プリントッド エレクトロニクス
- EV バッテリーおよび燃料電池アセンブリ用の
コーティング基板
- 映像用および工業用フィルム
- 特殊化学薬品

コダックのサステナビリティの取り組み

Dick Szembrotより皆様へ

ワールドワイド 衛生／安全／環境担当ディレクター



2022年初め、コダック全体から選ばれた一部のシニアリーダーたちが集まり、低炭素経済への世界的な移行に関連するビジネスリスクと機会について話し合いました。そして、TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)フレームワークを用いた製品ポートフォリオと戦略的方向性のレビューを含む2つのワークショップが実施されました。この結果、エネルギーの使用、原材料の入手先、お客様の好みの変化、規制の動向に対して当社はさらに重きを置くことになりました。また、当社、お客様、そして世界にプラスの影響を与えるための当社の取り組みはまだ道半ばであることを認識しています。

このレポートでは、当社の革新的な KODALUX 調光テクノロジーが紹介されています。当社の SONORA プレートにより達成された革新と同様に、この技術によって従来の遮光コーティングよりも処理ステップが少なくなります。どちらの技術も、材料科学や微粒子に関する世界クラスの専門知識を活用することで、当社の製品開発に対する基本的アプローチを具現化するものであり、ライフサイクル全体を通して持続可能性をもたらす利点がさらに向上する製品の制作を実現します。これこそが当社のモチベーションの中核であり、当社の DNA の1つです。

総じて、当社の製品ポートフォリオの進化は、当社の製品をお使いのお客様が自身の持続可能性目標も達成できるようにするという当社のコミットメントの表れです。KODAK NEXFINITY デジタルプレスは、危険のない作業環境と、環境に優しい KODAK ドライインクを使用したリサイクル可能な印刷を実現します。KODAK PROSPER ULTRA 520 プレスの水性インクは、子供向けの書籍や食品包装など、間接的な接触に対する安全性が確保された製品です。どちらもデジタル印刷向け製品ですが、デジタル印刷はアルミニウム版の使用に伴う環境への影響が懸念されるオフセット印刷に代わる、新たな印刷手法です。





当社の製品ポートフォリオの進化は、
当社の製品をお使いのお客様が
自身の持続可能性目標も達成できるようにする
という当社のコミットメントの表れです”

将来を見据えて、製品のライフサイクルフェーズ全体や当社の事業内にはまだまだ改善の機会があることは承知しています。当社では現在、製品ライフサイクル評価を実施し、CO2 排出量データを生成する機能の強化を続けています。当社の製造施設では、ISO 14001 認定の環境管理システムを活用して、環境パフォーマンスの継続的な改善を推進しています。また、当社の製造時の温室効果ガス排出量の回収と独立したレビューについてスリム化を行いました。当社は One Kodak アプローチにより、明日の課題に対応できる体制を整えています。当社の取り組みが今後も継続的に進歩していくことを楽しみにしています。

Dick Szembrot
ワールドワイド衛生／安全／環境担当ディレクター



SUSTAINABILITY

環境*



廃棄物

全世界のコダック拠点で廃棄物ゼロを目指し、
2025 年までに、埋め立ておよび焼却からの廃棄物
転換率 99% を全拠点で達成
進捗状況：廃棄物転換率 52%



温室効果ガス

全世界の事業における温室効果ガス排出量を 2025 年まで
に 25% 削減 **
進捗状況：スコープ 1 およびスコープ 2 排出量の 30% 削減
を達成



水

コダックの全世界の事業における水の消費量を
2025 年までに 25% 削減 **
進捗状況：絶対的な値は下降傾向にあるものの、
収益と相対して 13% 増加



リサイクル

コダックが外部排出源から回収する使用済み溶剤の量を
2025 年までに 3 倍に増加
進捗状況：使用済み溶剤の回収量が 65% 増加

社会



安全性

2025 年までに労働災害率を 25% 削減 *
進捗状況：2021 年には前年比 11% の改善
2025 年の目標を達成するには、さらに 30% の削減が必要

*2016年のベースラインとの比較

**収益に連動



ダイバーシティ／インクルージョン

Human rights Campaign の企業平等指数スコア 100% を
維持し、同財団が発表する「LGBTQ 平等における最高の職場」
リストへの掲載を継続
進捗状況：達成

GOALS

国連による持続可能な開発目標(UNSDGs)に対する当社のコミットメント



UNSDGs は、当社が持続可能性を実現する上での優先事項と目標を知らせるための手段となる情報提供先の 1 つです。コダックは個別の UNSDGs フレームワークを開発していませんが、当社のサステナビリティレポートでは、ジェンダー平等の実現 (SDG5)、エネルギーをみんなにそしてクリーンに (SDG7)、働きがいも経済成長も (SDG8)、不平等をなくす (SDG10)、つくる責任つかう責任 (SDG12)、パートナーシップで目標達成 (SDG17) など、UNSDGs の主要分野の一部における当社の取り組みについて強調しています。当社は、当社の SDGs との関連性を示すエビデンスに投資家の方々などが関心を寄せていることを認識しており、その報告は今後数年間かけて進展させる予定です。



ONE BUSINESS

製品とサービスのイノベーション

コダックの長期的な経済的成功は、お客様のニーズにしっかりと寄り添うことで成り立っています。現在では、このようなニーズのひとつにサステナビリティが数えられるようになりました。コダックは、事業の拡大と市場の創出を自社にもたらす、科学に根ざした製品と技術の開発と提供に取り組んでおり、その一環として、業務効率性の最大化、資源消費量の最小化、長期的なコスト削減によってサステナビリティパフォーマンスを高める製品や技術にも注力しています。

環境保護と事業成長を両立： コダックの最新の製品と サービス

コダックは、マテリアルサイエンスの豊富な知識と数千件に及ぶ印刷関連特許を有する業界のバイオニアとして、特にサステナビリティの分野での革新を続けてまいります。

コダックは、商用印刷機やパッケージング用印刷機がより環境に配慮した方法の生産やCO₂排出量削減を実現できるよう、技術開発を積極的に推進しています。私たちは、品質、生産性、収益性を何ひとつ犠牲にすることなく持続可能な製品や処理の開発を進めていけるよう、あらゆる努力をしています。

サステナビリティの過程に終わりはありません。当社も成長に合わせ、引き続き製品とサービスの環境負荷を低減する方法を模索していきます。商業印刷は廃棄物や汚染の重大な発生源となってきた歴史があり、このような取り組みは印刷製品にとって特に大きな意味があります。コダックでは、ライフサイクル評価およびカーボンフットプリント測定機能を自社開発しています。これらの機能を通して、当社製品の環境フットプリントを削減できる領域は今後さらに特定されていくでしょう。

2022年、コダックは持続可能印刷における主要な認定機関である、Sustainable Green Printing Partnershipに参加しました。プラチナパートナーであるコダックは、業界がより環境にやさしく、資源使用を削減するビジネス慣行へと変革し、印刷の持続可能性を向上させる上で積極的な役割を果たしてまいります。



**コダックは、特に印刷物の生産プロセスと持続可能性にまつわる
お客様への支援に関して、さまざまな持続可能性プログラムを通
じて、循環型経済への強いコミットメントを示しています”**

Marci Kinter 氏
Sustainable Green Printing Partnership共同創設者

KODAK SONORA

プロセスフリープレート

オフセット印刷は19世紀に発明されて以降、イメージングや処理に相当量の化学薬品、水、エネルギーを必要としていました。KODAK SONORA プロセスフリープレートの開発により、コダックは、廃棄物やエネルギーの使用を削減し、化学薬品や水の処理が不要になる印刷プレートの商品化に初めて成功しました。また、プロセスフリープレートは処理のばらつきがなく、印刷室での時間、廃棄物、コストが削減され、一貫性と安定性が向上したプレートになっています。

この5年間でコダックのプロセスフリープレート事業は106%の成長を達成し、プロセスフリープレートは世界中の6,000以上の印刷会社様で採用されています。印刷会社様がプロセスフリーのアプローチを採用することで得られる、環境面および経済面でのメリットは折り紙付きで、これによりコダックの今日の成功がもたらされています。

KODAK SONORAプロセスフリープレートの サステナブルなメリットは以下の通りです



化学薬品不使用



水不使用



省エネルギー



低廃棄物

有処理プレートをSONORAに
置き換えることで、印刷業界全体で
節約できるエネルギーの推定量

3.3M

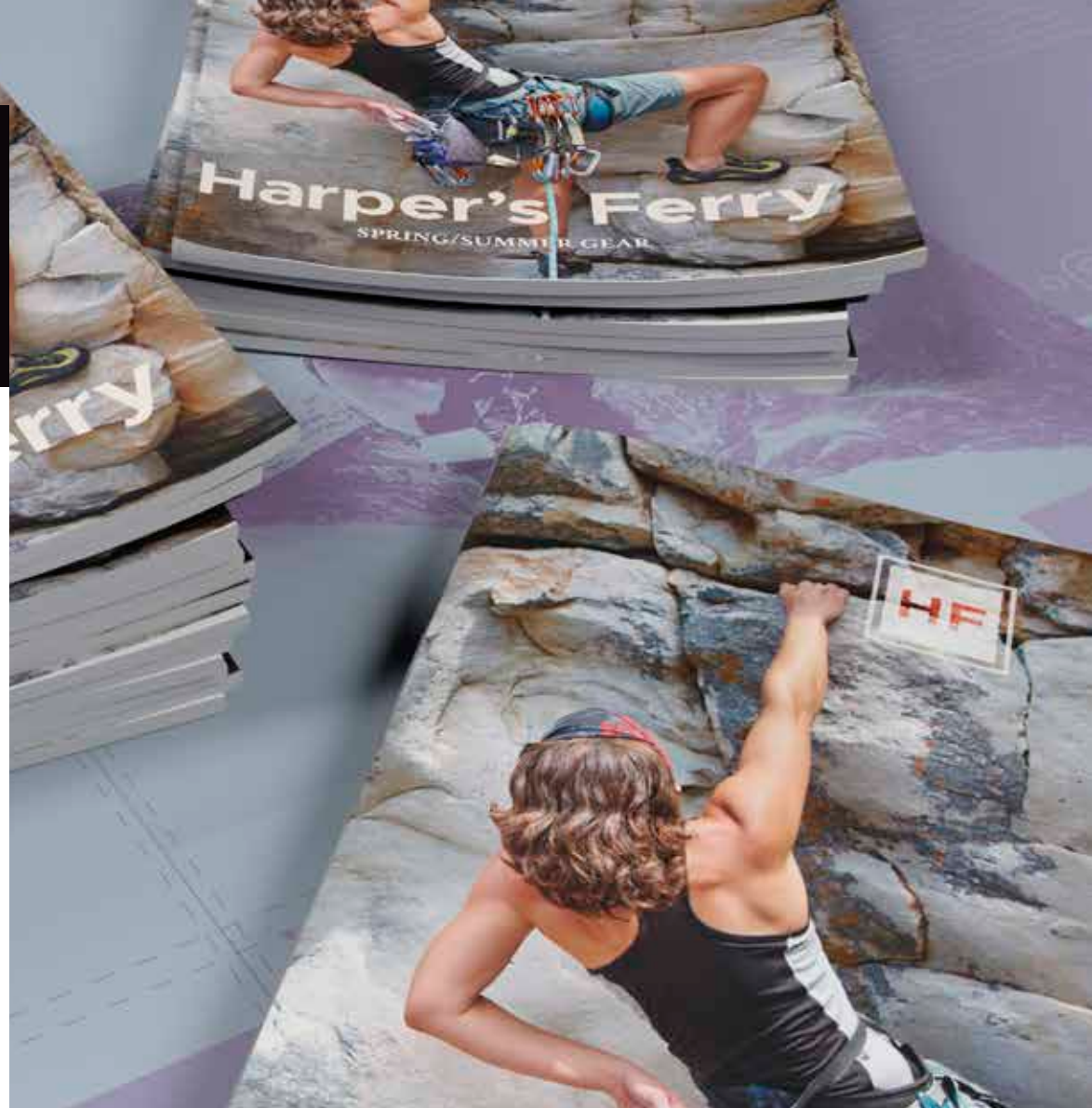
330万リットルの
プレート現像液 (年間)

24M

2,400万kWhの
電力量 (年間)

507M

5億700万リットルの水 (年間)



CTP (Computer-To-Plate) システム

代替のプラットフォームに比べてエネルギーを 95% 節約

印刷会社の環境コストと経済コストの削減に大きく貢献する SONORA プロセスフリープレートをコダックの CTP テクノロジーと組み合わせることで、さらに大きなメリットを享受することができます。CTP システムでは、各画像をコンピューターからプレートに直接出力できるため、中間工程のフィルムが不要となり、廃棄物が削減されます。さらにコダックでは、さらなる省エネ化に向けた CTP システムの革新を続けており、現在のエネルギー消費量は、代替の CTP プラットフォームに比べて最大 95%削減されています。



当社では、常に環境面を考慮したうえで投資を決定しています。SONORA Xプレートのおかげで、プレス工程に至るまで化学物質を全く使用していません。コダックのプロセスフリープレートの使用はいいこと尽くめで、今後も何のためらいもなくこのソリューションを選択するでしょう。環境に優しく持続可能なサービスの提供も模索している当社にとって、これは明らかな付加価値です”

Michael Blass 氏

Benedict Press社 製品マネージャー (ドイツ)



KODAK SONORAプロセスフリープレートへの切り替えは、当社が環境のためにできる多くの方法の1つでした”

Steve Cropper 氏

Gemini Print社 CEO (イングランド)



有処理プレートから無処理プレートへの移行がスムーズに完了したのは驚きました。当社で導入した印刷機に問題はなく、新しいプレートをすぐに採用できました。さらに、製版部門で2台のプレートプロセッサを減らすことができたので、持続可能性が向上しただけでなく、減らしたマシンのケアやメンテナンスに必要なコストを削減することができました”

Steve Lonergan 氏

Webstar社 テクニカルイノベーションマネージャー (ニュージーランド)



2台のKODAK TRENDSETTER Q800 SCUプレートセッターで、毎月平均4,000枚のKODAK SONORAプロセスフリープレートを出力し、最新のLED-UV印刷機に供給しています。KODAK SONORAプロセスフリープレートによって、環境への影響が軽減され印刷品質が向上しています”

藤田 育夫 氏

瞬報社写真印刷株式会社 専務取締役

デジタルプレスとワークフローソフトウェア

フレキシブル パッケージングやラベルから、折り畳みカートンや段ボール箱に至るまで、デジタル印刷はパッケージング生産の場で急速に普及しています。この傾向の要因となっているのが、生産の向上と市場投入までの時間の短縮を求める声と持続可能性です。オフセット印刷に比べてリソース消費量が少ないデジタル印刷を、情報活用力に優れたコダックのワークフローソフトウェアと組み合わせることで、お客様はさらなる効率化が可能です。このワークフローソフトウェアは、廃棄物の削減、インクの節約、高コストをもたらす人的ミスの排除を、自動化と統合によって支援します。



KODAK PROSPER ULTRA 520 プレス

オフセット印刷に限りなく近い品質

KODAK PROSPER ULTRA 520 プレスは、インクジェット概念を変えます。50年にわたり培ってきた機械工学と化学工学の両方における世界クラスの技術革新と投資の産物である ULTRA 520 は、今日の市場で最高品質の印刷を可能にします。この新しい印刷機は、コダックの新しい ULTRASTREAM インクジェット技術と高効率の水性インクをコンパクトなプラットフォームに搭載し、最高のスピードと解像度で印刷します。

オフセット印刷に比べてリソース消費量が少ない
デジタル印刷は、コストの上昇を抑え、
プレートのサプライチェーンの課題を排除して、
デジタル印刷の持続可能性を全体的に高めます。



KODAK PRINERGY ワークフローソフトウェア

さらに容易で、収益性の高い、サステナブルな印刷

KODAK PRINERGY ワークフローソフトウェアは、印刷業界をリードするブリプレス自動化ソフトウェアです。クラウドからオンデマンドで運用できる PRINERGY ワークフローソフトウェアでは、手動による操作を減らし生産性を高め、エラーを最小限に抑えて無駄を削減します。また、PRINERGY ワークフローソフトウェアに組み込まれた AI（人工知能）と分析機能を活用することで、インクやプレートの使用データおよび使用傾向に基づいて、コスト削減や業務改善につながるビジネス上の意思決定を下すことができます。



長年にわたり、私たちは持続可能性とエコフレンドリーな考え方を注視してきました。当社は、食品や医薬品の包装における安全な生産を支援するソリューションを常に模索しています。新しいワークフローシステムを検討する際、印刷プロセスで使用するインクや薬品の使用量を減らしたいと考えていましたが、コダックがその解決策を提供してくれました。PRINERGYはシステムそのものの柔軟性が非常に高く、印刷プロセスをスリム化し、無駄を減らしてくれます”

Daniel Stosik 氏

Akomex Groupブリプレス部門マネージャー（ポーランド）

プリンテッドエレクトロニクス： 解像度の革命

コダックは何年もかけて、透明で柔軟性の高い、フルアディティブな電子フィルム部品の設計と製造における専門知識と資産を開発してきました。そして生まれたこの特許取得済みのマイクロワイヤー技術で、コダックはアンテナ、無線周波数(RF) フィルター、電磁干渉 (EMI) シールドなど、非常に透明性の高い RF デバイスの新機能を提供できるようになりました。

現在では、デザインを超高解像度で画像化して、スクリーン印刷やインクジェット印刷では不可能な機能をフレキシ印刷で作成することができ、お客様が革新的なデザインを実現してコネクテッドな世界を維持する一助となります。

お客様と連携してこれらの最先端技術を実現するにあたり、当社は製造から使用終了までの環境への影響を考慮しています。当社では現在、通常はサブトラクティブ法を使用する部品にアディティブ製造を活用しており、これからも処理の持続可能性を向上させる方法を常に模索してまいります。

持続可能性に優れた水性インク

さらに容易で、収益性の高い、サステナブルな印刷

数々の受賞歴を誇るコダックの高性能水性インクは、従来の溶剤ベースのインクに比べて人や環境に対する安全性が向上しています。揮発性有機化合物（VOC）の含有量を最小限に抑え、ポリ塩化ビニールやフタル酸エステルを含まないため、潜在的な有害物質を排水流や水源から排除し、有害廃棄物の除去処理を不要にします。

コダックの水性インクは品質面で一切の妥協はなく、印刷品質と再現の一貫性においてオフセットの転写とほとんど見分けがつかません。その優れた性能とサステナビリティ プロファイルが評価され、現在では食品パッケージやパーソナルケア用品、子供向け書籍などあらゆる商品にコダックの水性インクが採用されています。

KODAK PROSPER インクジェットプレス プラットフォーム

デジタル印刷機の価値を向上

KODAK PROSPER インクジェットプレス プラットフォームは、コダックの水性インク技術を活用した高速プロダクションデジタルプレスで、出版、ダイレクトメール、各種基材のパッケージなど幅広い用途に対応。短納期少量印刷にも対応します。また、プリントヘッド部品は再生および再利用できるよう設計されており、廃棄物削減がさらに促進されます。



溶剤の回収： 循環型経済の実現に向けて

溶剤回収とは、製造工程で発生する廃棄物や副産物の溶剤から有用な原材料を抽出し、再利用のためにそれらを加工するプロセスです。廃棄物が再利用されることで、エネルギー使用量、温室効果ガス排出量、廃棄物処理費用の削減に加え、材料の再利用や販売による天然資源保護や収益増など、あらゆる人々が恩恵を享受できます。

Eastman Business Park のコダック施設では、製薬、医療、化学薬品製造の業界のお客様から供給される、最も一般的な 5 種類の工業用溶剤（メタノール、エタノール、イソプロピル アルコール、アセトン、酢酸エチル）を再処理しています。この回収プロセスには最高水準の規格が適用され、最終的にはほぼ未使用の状態に近い原材料が生成されます。その純度が工業グレード製品の純度を上回ることも珍しくありません。

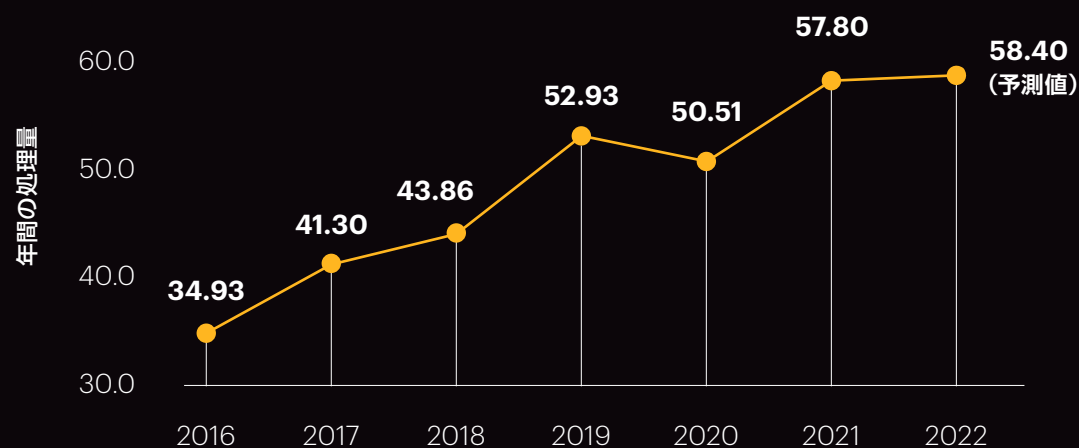
コダックが 2016 年に発表した目標は、このサステナビリティ事業を引き続き拡充し、外部排出源から提供される溶剤の処理量を 2025 年までに 3 倍に増加することです。

**循環型経済は、廃棄物から価値を生み出します。
コダックが溶剤回収事業の拡大を通じて行っているのは、まさにそうした価値創出です。**

2016～2021年度末にかけて、
コダックの溶剤回収事業は **65%** の成長率で拡大

成長する溶剤回収事業

材料の回収量（単位：100万ポンド／排出源：コダック以外）

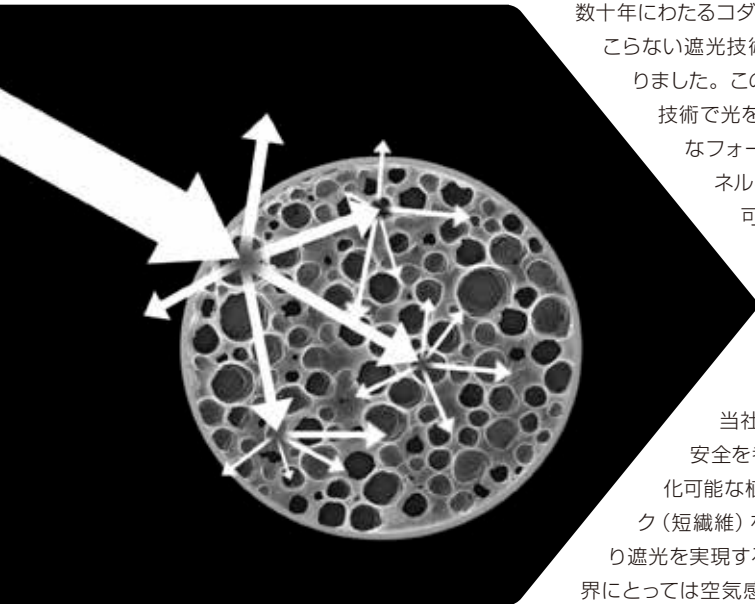


Eastman Business Parkの 溶剤回収施設について

- » 工場内に鉄道施設を完備
- » 53基のステンレス製タンク
- » 23本の蒸留/回収用ステンレス製カラム

コダックの溶剤回収事業は、2022年に
**Business Intelligence Groupの
Sustainability Service of the Year**を
受賞しました。

省電力化： 新しい遮光技術の開発



数十年にわたるコダック全社を挙げての研究とコラボレーションの結果、裏抜けの起こらない遮光技術を採用した、KODALUX ファブリックコーティングの開発に至りました。この技術は、フィルタリングから100%の遮光まで、独自の微粒子技術で光を調節できます。コダックのシンプルなワンステップ処理と革新的なフォームコーティングにより、従来の製品よりも製造に必要な水、エネルギー、化学薬品が少なくなり、さらに効率的で効果的な光調節が可能になります。

KODALUX ファブリックコーティングを製造するプロセス機器と施設自体は再利用されたものであり、循環型経済の促進を支援するという当社の大志を強調しています。

当社の遮光製品は、製品を製造する人と使用する人、両方の健康と安全を考慮して作られています。当社の製剤の有効成分は、バイオ堆肥化可能な植物由来原料であるセルロースをベースにしたものであり、フロック（短繊維）を使用せずに製品を製造することができます。フロックは元来より遮光を実現するのに必要とされてきましたが、工場火災の原因となり、製造業界にとっては空気感染による健康被害の原因となってきました。当社の施設ではすべての製品でコダックが開発した100%フロックフリーの新製法を使用しています。

さらに、当社の遮光技術による製造プロセスの簡素化により、現地だけでの製造が可能になり、複雑なグローバルサプライチェーンへの依存が軽減されます。



遮光技術の新たな進歩から生まれた
KODALUXファブリックコーティング
それは、これまで以上に
持続可能で、効率的で、
カスタマイズ可能な技術です。



1/3

水の使用量が1/3

1/3

エネルギー消費量が1/3

98%

カーボンブラックの削減率

100%

フロック（短繊維）フリー

**エコテックス
スタンダード100**

繊維の安全証明「エコテックス
スタンダード100」認証済み

35%

リサイクル繊維の使用率

**タイトな
サプライチェーン**

輸送距離を最小化

ニューヨーク州ロチェスターの
再利用設備で製造

**ニューヨーク州
ロチェスター**





ONE PLANET

責任ある環境フットプリント管理

資源に限りがある現在の世界で、収益性の高い企業を育て次世代に受け継いでいくためには、持続可能性のある製品や事業運営の実現に徹底して取り組む必要があります。コダックは全世界の事業拠点で、廃棄物の削減、エネルギー消費量の削減、水の節約、有害物質の排出量削減を可能にする新しい方法の導入を推進しています。

持続可能な操業体制

コダック施設における環境フットプリント低減の取り組みの一部を紹介します。

米国 ニューヨーク州ロチェスター

コダック最大の製造拠点である Eastman Business Park は、持続可能性を実現する多くのイノベーターや新興企業の拠点となっており、成長中のコダックの溶剤回収事業もここで行われています。2021 年、当社の特殊インクおよび分散体製造事業では、粒子化性能をスケールアップしたことでエネルギー使用量が 41.6% 節減され、年間 50 トンの CO2 削減に成功しました。さらに処理用トートが再利用されたことで、廃棄物は実質 85%削減されています。

米国 オハイオ州デイトン

コダックは、デイトン大学の産業アセスメントセンターと提携して、イーストマン・コダック社デイトン工場のエネルギー評価を実施しています。調査結果に基づく改善策を実施することにより、年間 1,400 トンの CO2 削減が見込まれています。この目標の達成率は現在のところ、35% となっています。

カナダ バンクーバー

バンクーバーでは、私たち個人が変化をもたらす力を持つことが、環境への影響を軽減するための行動によって示されています。一例として、頻繁に交換が必要なサーマルヘッド部品の材料を変えることができる可能性が、あるオペレータにより特定されました。今ではヘッドを取り換えれば、部品交換の必要がなくなり、廃棄物が削減されます。また、別のチームメンバーは、機械部品の出荷にはさまざまな梱包材が使われていることに気付きました。この問題提起により、サプライヤーとも連携して、不要な材料の削減が達成されました。

日本 群馬県

今年初旬に、群馬県危険物安全協会連合会より、日本国内のプレート製造所が表彰されました。危険物関連法規への適合や事故防止に重点を置いた設備安全管理の推進において、他事業の模範となる工場として評価され、今回の表彰に至りました。

米国 ジョージア州コロンバス

コダックは、パレットの構成からリサイクル不可能な梱包材を排除し、地元で製造された段ボール箱の供給に移行することで輸送フットプリントを抑え、埋立処分される梱包材を 10 トン以上減らすという、大胆な除去プロジェクトに成功しました。



責任あるサプライチェーン

コダックが世界最高水準のグローバルビジネスを持続できる理由として、責任あるサプライチェーンを維持していることが挙げられます。責任あるサプライチェーンにおいて、当社と同水準の厳格な基準の遵守が期待されます。

当社のサプライヤーの社会基準および環境基準の設定には、サプライヤーの健康、安全、環境、労働、および倫理的パフォーマンスに対する期待が込められています。コダックではこの基準をサプライチェーン全体の取り組みと考えており、サプライチェーン全体で遵守されるよう、サプライヤーにはこうした期待を別のサプライヤーに伝達していただきたいと思います。

当社の紛争鉱物に関するポリシーに記載されているように、コダックでは製品に使用される鉱物の倫理的な調達に取り組んでいます。コダックは、紛争鉱物がコダック製品に使用される可能性があるかどうかを、サプライヤーやその他のステークホルダーと協力して特定しています。このような鉱物のグローバルサプライチェーンは複雑であり、当社の製品に含まれる鉱物をその出所まで追跡することは困難です。コダックの目的は、サプライヤーと協力して、長期的なサプライチェーンの透明性を高めるために必要な積極的なデューデリジェンスプログラムを確立することです。

サプライヤー ダイバーシティ プログラム

コダックでは、マイノリティ、女性、LGBTQ、退役軍人が所有する企業、小規模企業、障がいのある方が経営する企業など、小規模かつ多様なサプライヤーと積極的につながり、関係を深めています。

1989 年以来、当社はサプライヤー ダイバーシティ プログラムを通じて、部品製造、化学薬品、パッケージング、専門サービス、MRO、事務用品といったさまざまなサプライヤーに最大限の機会を提供し、ビジネスのあらゆる側面でご支援をいただいています。当社の調達チームは、入札プロセスに多様なサプライヤーを含めるよう努めており、供給ベースをさらに多様化してビジネス拡大の機会を提供しています。

EASTMAN BUSINESS PARK

持続可能な 成長の中心拠点

Eastman Business Park(EBP)は、コダックの主要な生産拠点であるだけでなく、約487万平方メートルの土地に技術、輸送、公共インフラの資産を独自に完備するイノベーションと製造の中心拠点として機能し、未来を担う最先端の製造企業やイノベーターを魅了し続けています。

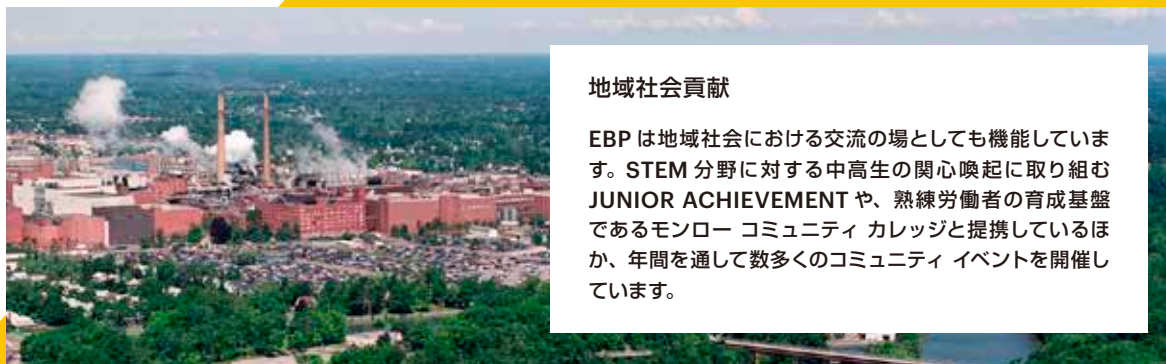
イノベーションとコラボレーション

EBPには、コダックを除く企業119社、コダック以外の従業員約5,000人を含むイノベーター、起業家、業界リーダーが多数集結しており、そこから生み出される製造関連の売上は年間20億ドルを超えています。



エネルギー貯蔵エコシステム

まだ初期段階ではありますが、コダックはエネルギー技術の製造を中心に、当社の現在の機能拡大に乗り出すべく舵を切りました。当社のパイロット施設や開発施設を使用するクライアント数が増えつつあり、統合型の製品やサービスの提供が求められるようになっていますが、エネルギー事業への参入によってEBP内のエコシステム拡大にさらに拍車をかけることで、お客様の期待に応えられるようになります。



地域社会貢献

EBPは地域社会における交流の場としても機能しています。STEM分野に対する中高生の関心喚起に取り組むJUNIOR ACHIEVEMENTや、熟練労働者の育成基盤であるモンローコミュニティカレッジと提携しているほか、年間を通して数多くのコミュニティイベントを開催しています。

インフラ資産

EBP は、水、蒸気、安定した電力、敷地内鉄道、廃水処理施設などの資産を総合的に完備しています。また、製造施設や流通施設、研究所、オフィス用の土地面積は約 148 万平方メートルの広さを誇ります。



不動産戦略

EBP の所有権は土地空間いずれもコダックにあるため、当社のインフラ、サービス、建物、土地の柔軟かつ効果的な再利用という戦略を軸に、数多くの外部向け事業の開発と成長を図ることができます。2021 年全体では現在のテナントの 94% がリース契約を更新し、EBP が提供する環境のメリットと価値を引き続き活用していただくことになりました。



すべての人々が食物を食べる、健康を維持する、地球を守る、このような人類最大の問題に取り組むのに、RNA の科学が役立ちます。私たちの知る限り、Eastman Business Park にある GreenLight Biosciences プラントは、生産量において世界最大の RNA 施設です。2020 年にプラントを建設して以来、EBP のインフラを利用することで 6 か月以上の時間を節約し、設備投資を削減しました。製造事業を確立するうえで、Eastman Business Park は貴重なパートナーでした”

Carole Cobb 氏
GreenLight Biosciences 社 最高執行責任者 (COO)



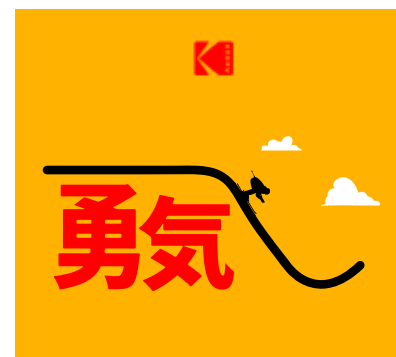
ONE PEOPLE

助け合いの輪

当社は、コダックが明るい未来を描き続けていくためには、従業員が仕事に熱中でき、充実感を得られなければならないと考えています。当社の職場は、多様性、安全性、包摂性に富む場所であってなりません。また、当社の文化は、従業員の健康と幸福が中心でなければ意味がありません。コダックは、強い期待に応える製品とサービスを創造し提供する成長企業として、現在と次世代の従業員にさまざまな機会を生み出しています。

コダックの 価値観

2022年、当社は企業の価値観を、当社の現在の姿と将来のビジョンを反映させたものへと一新しました。新しくなった価値観は、**勇気**、**競争心**、**お客様へのコミットメント**、**誠実**。この価値観は、当社が変革を続ける際の決定や行動の指針となります。当社はここで示された価値観に忠実に、かつお客様の期待を上回り、最先端の製品を提供できるよう努めています。



理由を聞きましょう。
リスクを取りましょう。
変化を受け入れましょう。



挑戦しましょう。
ワンチームとして協働しましょう。
共に勝利しましょう。



顧客を第一に考えます。
約束を守ります。
信頼を築きます。

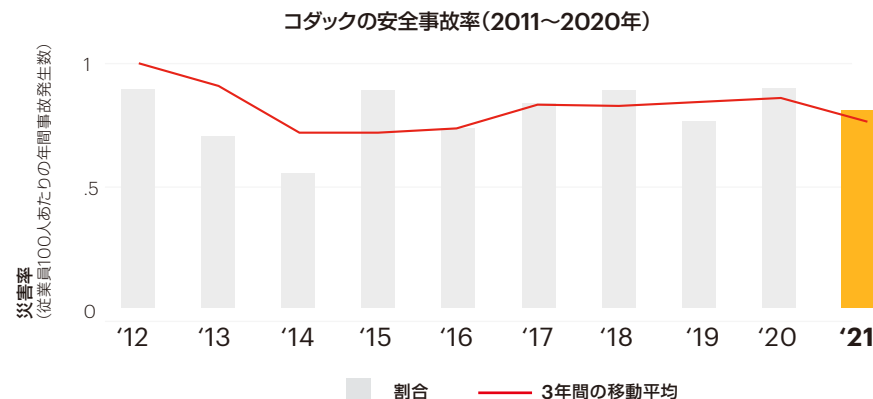


真実を伝えます。
透明性を保ちます。
責任を受け入れます。

安全

コダックの最優先事項は、当社のビジネスに日々関わるすべての人々の健康と安全です。それを実現する第一歩が、従業員の健康と福利厚生です。2021年の怪我や病気の発生率は2020年と比較して11%改善しています。また、当社の事故発生率は製造業界の平均をはるかに下回っています。*それでもなお、さらに改善できることを認識しています。すべての安全上の事故は予防可能であるという考え方が私たちの原動力であり、2025年までに労災発生率を0.5まで引き下げるというストレッチ目標にも反映されています。

* ニュースリリース (2021年11月3日)、米国労働省労働統計局



人間工学教育プログラム

当社では、作業する上での身体力学の重要性と、怪我を減らして心身の健康を促進するための職場でのストレッチングの重要性について、従業員向けに教育を行っています。当社の従業員に多いのは脊椎と上肢の怪我であるため、当社の人間工学教育プログラムでは、これらの部位についてさらに手厚い教育を行っています。

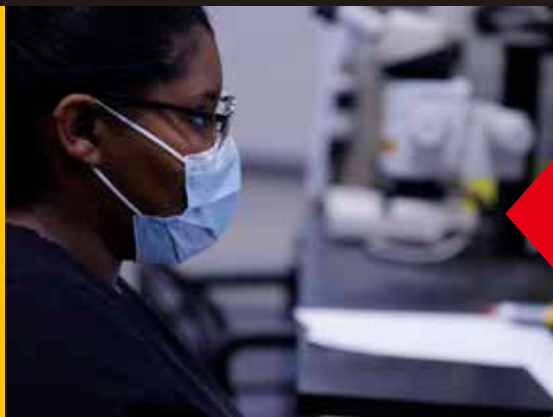


厳格な事故調査プロトコル

職場で発生した怪我などはすべて、厳格な事故調査プロトコルに従って評価されます。危険が確実に排除されるように、このプロセスには、根本原因の分析の特定、予防措置の実施、定期的なレビューの実施が含まれます。

従業員監視検査

動力付き産業用トラックの操作、化学薬品の取り扱い、消防など、従業員が各種作業を安全に実行できるよう、従業員向けに監視検査を実施しています。



予防管理

従業員は、個人用保護具(PPE)の適切な使用方法と、コダックの施設全体でのどんな作業にも対応できるためのPPEについてのトレーニングを受けています。さらに、従業員は、危険評価、安全保護、化学物質の取り扱い、聴覚保護や落下防止、密閉空間での作業など、幅広い安全トレーニングプログラムを受けています。



GOAL

目標: 労働災害率を
2025年までに25%削減

25% by 2025

2016年のベースラインとの比較

ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン

テクノロジー企業であるコダックが成功するためには、優秀な人材を確保・育成し、信頼関係を築くことが欠かせません。世界水準の人材を惹きつけて維持するには、ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン（DEI）、この3つのテーマの実現を目指し、徹底して実践していくことから始める必要があります。むしろ、この取り組みに尽きると言えるかもしれません。

コダックは、全世界の数多くの国々に事業を展開するグローバル企業として、人種、ジェンダー、考え方の多様性、経験、経歴、年齢、社会経済状況など、個人のさまざまな側面を含むものとして、広く多様性を定義しています。このような多様な背景と視点を尊重しながら、コダックの共通目標の達成に向けて力を合わせていくことが、成長とイノベーションを実現し、現在そして次世代の従業員が抱えるニーズを確実に満たし、世界中の多様なお客様のニーズと経験を、より的確に把握することにつながると考えています。コダックでは現在、マネージャーやシニアリーダーに対する期待事項に設定することを含め、業務や人材のライフサイクルのあらゆる側面に DEI を組み込む方法を模索しています。

コダックは、管理職レベルでの女性の採用に注力してきました。当社の管理職の 31%、経営幹部の 38% が女性です。

コダックでは元来、リーダーやチームを国内で採用することで、現地の慣習や文化を土台として、ダイバーシティを全世界で築き上げています。グローバルチームのリーダーは現地で採用されたリーダーに頼りながら、ビジネスを推進して現地のお客様への適切な支援を行っています。2020 年には、人種の公平に関する理解と学習を深め、あらゆる人々が包摂性を享受できる職場と地域社会をコダックとともに構築することを目指し、21-Day Racial Equity Challenge を実施しました。コダックでは引き続き、経営陣との話し合いやトレーニングの追加、および全社員向けのワークショップを通じて、こうした教育をさらに発展させていきます。

**コダックでは、全社的な方針として、
個人一人ひとりの尊厳を尊重するとともに、
人種、肌の色、宗教、性別／ジェンダー、性自認、性的指向、
配偶者の有無、妊娠、遺伝情報、市民権の有無、国籍、年齢、
障がい、退役軍人の身分などに基づく差別を禁止しています。**

100%

コダックは、企業平等指数 100% を 22 年連続で達成しています。

この評価は、レズビアン、ゲイ、バイセクシャル、トランスジェンダー、
クィア（LGBTQ）に関する職場方針とその実践に対する
優れた取り組みが認められたことを意味します。

スコア 100% を獲得した企業は、

「LGBTQ 平等における最高の職場」に認定されます。



将来を切り拓く 技術と人材の育成

コダックは、将来を担う技術と人材が育まれる、収益性と持続可能性に優れた企業づくりに取り組んでいます。

コダックのお客様第一主義の取り組みにおいては、従業員が業界最高のスキルを持っていないければなりません。コダックは、当社の技術、製品、サービスにおける最新の革新的動向についての情報をお客様に提供し続けることで、お客様の市場での成長や競争力の維持に貢献することができます。

この取り組みをサポートするために、コダックは新たな一元型グローバル学習管理システムに投資しました。コダック内で myKodakLearning と呼ばれるこの新しいシステムにより、従業員や経営陣は、以下のような従業員向けの魅力的な学習体験を通じて、組織全体で一貫した効果的なトレーニングを受けることができます。

- 従業員が現在および将来必要とするスキルと能力を開発するための、選りすぐりの学習トラックを使用できる。
- 業界標準のコンプライアンストレーニングを含む、コンテンツおよびコースの総合的ライブラリを容易に入手できる。
- コダック専用学習モジュール
- LMS は今後、通知、レポート、学習の進捗状況を追跡する機能などが自動化されます。

myKodakLearning は社内従業員の学習をサポートしていますが、今後は、クライアントに優れたサービスを提供するために必要となる製品やサービスの認定にパートナーが利用できるようになります。



コダックの変革に携われることを誇りに思います。従業員やパートナーが学びやすい形式でさまざまな学習やスキル開発の経験を提供することで、コダックを業界のリーダーとして、またクライアントに選ばれるパートナーとして、これからも発展させていきます”

Margaret Fiorenzo 学習&開発担当ディレクター



Leanne Anderson

ペイロール（給与支払システム）
スペシャリスト（カナダ）

「コダックは、人事部門で長く楽しいキャリアを積む機会を与えてくれました。人事部門は働くのに最適です！私はコダックの従業員と関わり、コダックが引き続き強い企業であり続けるよう支援していきたいです」



Clara Fort

グローバル ブランド ライセンス担当
バイスプレジデント（英国）

「幅広い業界や地域を代表するライセンサーと協力しています。コダックのブランド、つまりコダックの遺産とそこに表れる価値にコダックと共に注視し、私たちは高い基準を設定して持続可能な解決策を見つけるために互いに学び合っています」



Josh Gretzinger

消防士/救急救命士（米国）

「健康、安全、環境に焦点を当てた世界的チームの一員になれることを嬉しく思います。コダックの消防署では、コダック社員や環境に影響を与える可能性のある状況に効果的に対応できるよう、コダックの業務のあらゆる側面に関与するよう努めており、常に前もって取り組むよう心がけています。コダック全体を挙げての持続可能性への取り組みに貢献できることを誇りに思っています」

従業員の健康と福利厚生

コダックでは、優秀な人材を育成し、イノベーションを促進し、従業員の身体的、経済的および心理的な健康増進を支援するための手段、資源、福利厚生に投資しています。

コダックは、個人的な困難に直面した従業員やその適格扶養家族、仕事、家庭、地域社会、自分自身への関わり方のバランスを取りたいと考えている従業員とその適格扶養家族のために、従業員支援プログラムやワーク/ライフ両立支援プログラムを通して、さまざまな援助を提供しています。これには次のものが含まれます。

- 子供や近親高齢者のための緊急バックアップケア
- ストレスコントロール、子育て、近親高齢者の介護、大学資金などをテーマとするランチタイムセミナー
- 仕事の責任と個人的価値の両立を支援する柔軟な業務スケジュール

私たち全員に打撃を与えたパンデミックとそれに伴う影響から、私たちは国を挙げて回復していますが、メンタルヘルスは多くの個人や家族にとって引き続き重要な問題となっています。コダックは、こうした困難を抱える従業員のための支援サービスの提供に積極的に取り組んでいます。コダックでは今後も、セラピストへの無料相談、カウンセリングセッションの割引、メンタルヘルスや健康に関する動画、ウェビナー、リサーチ情報、ヒント、ツールなどを提供していきます。

コダックの経済面での福利厚生制度には次のようなものがあります。

- コダックが全額出資し、従業員の退職後の収入を支援する Kodak Retirement Income Plan
- 退職後のファイナンシャル プランニング、人生の全段階にわたるファイナンシャル ウェルネス、予算の作成、529 プラン、医療費口座 (HSA) の最適化、401k、その他のファイナンシャル プランニングをテーマにした、RetireWise 教育ウェビナー

コダックの福利厚生制度には次のようなものがあります。



健康診断、
労災／傷病のケアと治療



臨床現場および薬局補助との提携による
季節性インフルエンザの予防接種



健康的な選択を奨励し、
健全な生活様式を推奨する
Partners for Health Programの提供



渡航医学プログラム



授乳期間中の母親の支援



コダックイントラネットの
医療リソース



病気や怪我をした従業員のための
職場復帰／就業継続プログラム



地域社会への影響

コダックはその長い歴史の中で、事業を展開する地域社会の慈善団体を常に支援しており、そのことに大きな誇りを持っています。コダックの数多くの情熱あふれる従業員が、ボランティア活動や慈善活動を通じて地域社会貢献の揺るぎない取り組みを続けています。



United Way



キャンペーンコーディネーターとして、この偉大な伝統を継承し、コダックのコミュニティメンバーの皆様と協力できることを光栄に思います。この重要な組織をサポートするために、コダック従業員が世代を問わず一丸となっている姿を見られるのは有意義なことです”

Melanie Marshall 氏

HSE Rochester Operationsマネージャー、United Wayキャンペーンコーディネーター
(2020~2022)

コダックには、従業員たちが個人的な寄付やボランティア活動を通じてUnited Way(ユナイテッド・ウェイ:米国の代表的な慈善福祉団体)を支援してきた長い歴史があります。コダックの創設者であるジョージ・イーストマンは、1918年にUnited WayがWar Chest(戦費募金)として設立され、のちにCommunity Chest(共同募金)となった当初からUnited Wayの開設を支援しました。コダックのロチェスターに勤務する従業員は、2021年と2022年にグレート・ロチェスターとフィンガー・レイクスのUnited Wayのために総額415,000ドルを集めることを公約しました。また、コダックのチームは、United Wayの毎年恒例の「Day of Caring」のコミュニティでボランティア活動を行いました。





Print for Good プログラム

コダックは、印刷物を通じて世界中の識字率向上を目指し、古本市、書籍の寄付、資料や備品の印刷を通じてコミュニティを支援する Print for Goodプログラムを展開しています。2021年には国際的なNGOであるRoom to Readに寄付を行い、Room to Readはインドに新しい図書館を6か所建設しました。これにより、低所得地域の1,600人以上の学生たちに恩恵をもたらしました。



地元の養護活動

メキシコのグアダハラを拠点とするコダック監査役のMaria del Carmen Aguayolは20年以上にわたり、地元のコミュニティに還元してきました。彼女は友人、家族、同僚の助けを借りて、食料、洗面用具、衣料品、おもちゃ、電化製品、家庭用品などを集め、地元の養護施設や孤児院、食料配給所、リハビリテーションセンター、医療施設への寄付を行っています。毎年、収集トラックやトラックは何百もの物資でいっぱいになり、こうした基幹組織に直接届けられます。



用具、衣料品、おもちゃ、電化製品、家庭用品などを集め、地元の養護施設や孤児院、食料配給所、リハビリテーションセンター、医療施設への寄付を行っています。毎年、収集トラックやトラックは何百もの物資でいっぱいになり、こうした基幹組織に直接届けられます。



特別な取り組み

- コダックイスラエルの従業員は、同僚の娘を偲んでハヌカの燭台を集め、このパッケージは、地域コミュニティの高齢者に配布されました。このプロジェクトは「Lia's Light — Illuminate Further On」と名付けられました。
- コダック オークデール（米国）の従業員は、飢餓に苦しむ子供たちを助ける非営利団体 Feed My Starving Childrenに参加するための時間を捻出しています。コダックのチームは、食糧梱包活動で約2,000食を用意しました。
- Eastman Business Parkチームは、米国赤十字社グレーターロチェスター支部の毎年恒例のイベント「Sound the Alarm」を支援しました。ボランティア参加者はコダックセンターに集まり、トレーニングセッションを行った後、地域社会に出て警報器の交換や、住宅所有者向けの火災安全教育を実施しました。



Worldwide Headquarters

343 State Street
Rochester, NY 14650
USA

www.kodak.com

© **KODAK**, 2022. KODAK, PROSPER, TRENDSETTER, ACHIEVE,
ULTRASTREAM, SONORA, PRINERGY, NEXFINITY, KODACOLOR,
KODALUX, ASCEND, KODACHROME and the KODAK logo are trademarks.

コダック ジャパン

<https://www.kodak.com/ja>

〒140-0002 東京都品川区東品川4-10-13 TEL.03-6837-7285(営業代表)

大阪:050-3819-1266 名古屋:050-3819-1265

福岡:050-3819-1270 札幌:050-3819-1250